



第66期 中間報告書
平成24年4月1日～平成24年9月30日



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役会長
中村達朗

代表取締役社長
石井和徳

代表取締役副会長
串田 榮

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

平成24年度上半期（当社第66期第2四半期累計期間・平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申しあげます。

営業の概況

当上半期におけるわが国経済は、一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの欧州債務危機に端を発する中国経済の減速や長期化する円高の企業業績への影響等が重なり、依然として景気回復の動きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、平成22年12月に連結子会社化しましたヒロセコリア株式会社との営業、開発、生産面での連携を一段と深めつつ当社グループのグローバル事業拡大を進めるとともに、昨年12月より製品開発部門、生産技術部門、営業・マーケティング部門等を集約した横浜市都筑区の新社屋「横浜センター」を中心に、高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売体制の強化を引き続き推進してまいりました。

その結果、当上半期の連結売上高は467億7千万円（前年同期比4.9%の減）、営業利益は109億5千9百万円（同5.6%の減）、経常利益は114億3千6百万円（同7.0%の減）、四半期純利益は68億3百万円（同7.9%の減）となりました。

株主の皆様の中間配当金につきましては、経営方針に基づき、1株につき70円とさせていただきます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、欧州債務危機や中国経済の減速および円高の長期化など引き続き不透明な状況が予想されます。

このような環境の中で当社グループは、携帯電話・スマートフォン、タブレットPC向け等の量的拡大やカーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車市場での成長および産機・通信市場での伸長を図るべく、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製

品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、生産拠点のリスク分散化をも視野に入れたグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

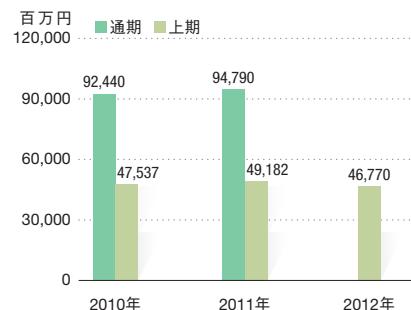
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

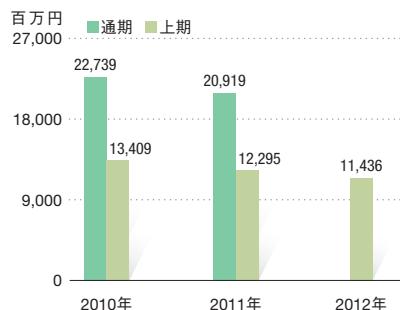
代表取締役会長 中村達朗

業績ハイライト

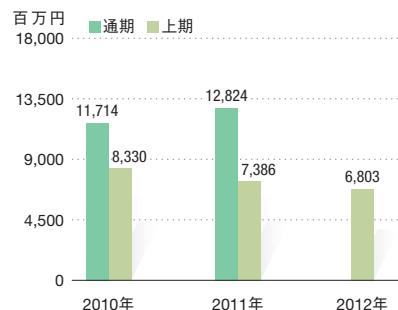
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



多極コネクタ

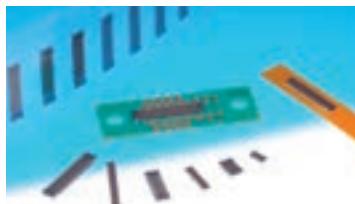
当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主として携帯電話・スマートフォン、デジタル情報家電、パーソナルコンピュータ、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度

情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

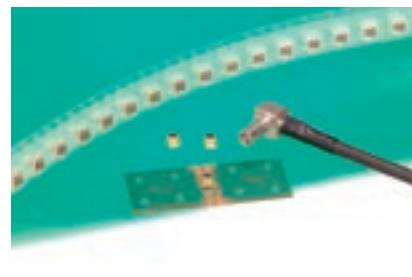
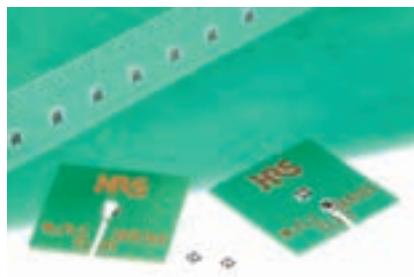
(当第2四半期連結累計期間)

当上半期は、概ね自動車市場向けおよびヒロセコリア株式会社の受注・売上は好調に推移したものの一部携帯電話・スマートフォン向けの低迷や産機市場向けの停滞の影響もあり、連結売上高は374億6千1百万円(前年同期比5.8%の減)、営業利益は90億7千9百万円(前年同期比5.5%の減)となりました。



同軸コネクタ

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、または携帯電話・スマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。



(当第2四半期連結累計期間)

当上半期の連結売上高は67億8千5百万円（前年同期比7.7%の減）、営業利益は17億1千万円（前年同期比10.8%の減）となりました。

その他の製品

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

(当第2四半期連結累計期間)

当上半期の連結売上高は25億2千3百万円（前年同期比22.8%の増）、営業利益は1億6千9百万円（前年同期比93.6%の増）となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,703	114,107
受取手形及び売掛金	23,344	23,794
有価証券	27,735	28,790
商品及び製品	3,799	3,501
仕掛品	2,378	2,401
原材料及び貯蔵品	1,009	1,104
未収入金	3,203	2,238
その他	2,940	2,939
貸倒引当金	△50	△54
流動資産合計	172,064	178,824
固定資産		
有形固定資産	26,448	26,511
無形固定資産	1,511	1,270
投資その他の資産		
投資有価証券	59,014	56,154
前払年金費用	337	320
その他	2,195	3,480
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	61,461	59,870
固定資産合計	89,421	87,651
資産合計	261,486	266,476

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,415	10,986
未払法人税等	3,205	3,842
賞与引当金	1,461	1,610
役員賞与引当金	122	120
その他	4,027	3,813
流動負債合計	19,231	20,374
固定負債		
退職給付引当金	170	258
その他	2,481	2,589
固定負債合計	2,652	2,848
負債合計	21,884	23,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,371	14,371
利益剰余金	269,620	274,520
自己株式	△54,692	△54,694
株主資本合計	238,704	243,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,394	2,592
為替換算調整勘定	△4,496	△6,200
その他の包括利益累計額合計	△2,101	△3,608
新株予約権	63	58
少数株主持分	2,936	3,201
純資産合計	239,601	243,253
負債純資産合計	261,486	266,476

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	49,182	46,770
売上原価	28,217	26,448
売上総利益	20,964	20,322
販売費及び一般管理費	9,352	9,362
営業利益	11,612	10,959
営業外収益		
受取利息	431	358
受取配当金	63	64
その他	257	280
営業外収益合計	751	704
営業外費用		
為替差損	50	164
その他	17	63
営業外費用合計	67	227
経常利益	12,295	11,436
特別利益		
補助金収入	—	138
受取和解金	21	—
特別利益合計	21	138
特別損失		
固定資産除却損	102	118
投資有価証券評価損	—	81
特別損失合計	102	200
税金等調整前四半期純利益	12,214	11,374
法人税等	4,584	4,104
少数株主損益調整前四半期純利益	7,629	7,270
少数株主利益	242	467
四半期純利益	7,386	6,803

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,071	13,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,891	△6,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,063	△1,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△921	△749
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,804	4,299
現金及び現金同等物の期首残高	42,435	41,992
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	115	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,746	46,292

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

BF4シリーズ

機器に組み込んだ基板間でデータを光伝送出来る小型『BF4コネクタ』を開発しました。

基板から受け取った電気信号をコネクタ内の半導体部品で光信号に変換し、光ファイバでデータ伝送します。従来の銅線ケーブルでの伝送方式と比べて電磁ノイズの影響を受けず設計の自由度が増し、産業機械からスマートフォンまで幅広い分野で使用することが出来ます。



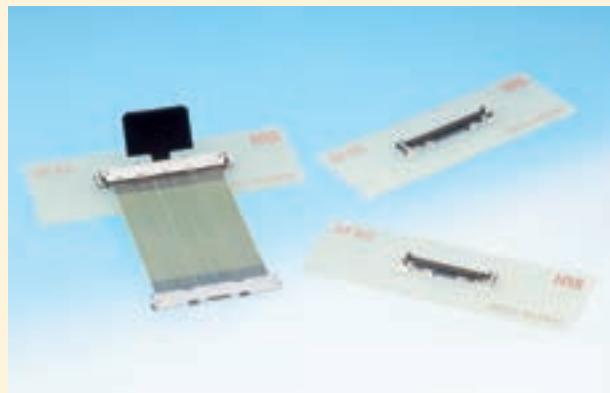
HR41シリーズ

携帯電話用基地局やLED照明器具など、主に屋外で 사용되는機器向けに開発した防水コネクタ（防水性能IP68）です。高強度かつ耐候性の高いプラスチックをシェルに採用することで軽量化を図りながら、優れた雷サージ対策（絶縁強度15kV）が施されています。またバヨネットロック構造を採用、良好な嵌合操作性も実現しました。



DF80シリーズ

ノートパソコンの伝送速度の高速化やウルトラブックなどの薄型モデルに向けた、ピッチ0.5mmの細線同軸ケーブル用コネクタです。次世代の信号伝送規格であるeDP™に対応し、高さ1.8mm、奥行5.1mmと低背、省スペースを実現しながら、独自の技術により良好な作業性と高い接触信頼性を有しております。



PL76シリーズ

各種産業用カメラの小型高精細化に向けて開発した75Ω対応の小型プッシュプルロック同軸コネクタです。一般品（BNCコネクタ）と比較して実装面積が約42%と小型化で、独自のロック構造により確実な挿抜を確保出来る信頼性の高い構造となっています。高周波性能（3.2GHzまでVSWR1.3以下）も優れた特性を有しています。



グループネットワーク (平成 24 年 9 月 30 日現在)

- 海外拠点
(支店・生産子会社・販売子会社・関連会社)
- 海外代理店
- 主な輸出先



●本社



●菊名事業所



●横浜センター



●インドネシア
P.T. HIROSE ELECTRIC
INDONESIA



●中国
広瀬電機(東莞)有限公司



●マレーシア
HIROSE ELECTRIC
MALAYSIA Sdn. Bhd.

- 本 社
- 横浜センター
- 菊 名 事 業 所
- 関 西 支 店
- 中 部 営 業 所

東京都品川区大崎五丁目5番23号
 横浜市都筑区中川中央二丁目6番3号
 横浜市港北区菊名七丁目3番13号
 大阪市淀川区西宮原一丁目5番33号
 新大阪飯田ビル
 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
 ナカトウ丸の内ビル

● 子 会 社

(国内)
 東北ヒロセ電機株式会社 (岩手県宮古市)
 郡山ヒロセ電機株式会社 (福島県郡山市)
 一関ヒロセ電機株式会社 (岩手県一関市)
 H S T 株 式 会 社 (神奈川県横浜市)
 (海外)
 HIROSE ELECTRIC (U.S.A.) ,INC. (アメリカ)
 HIROSE ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
 HIROSE ELECTRIC EUROPE B.V. (オランダ)
 HIROSE ELECTRIC MALAYSIA Sdn. Bhd. (マレーシア)
 HIROSE KOREA CO., LTD. (韓国)
 HIROSE ELECTRIC SINGAPORE Pte. Ltd. (シンガポール)
 台廣電子股份有限公司 (台湾)
 P.T. HIROSE ELECTRIC INDONESIA (インドネシア)
 広瀬電機香港有限公司 (香港)
 広瀬電機香港貿易有限公司 (香港)
 広瀬電機(東莞)有限公司 (中国・東莞)
 博瀬電機貿易(上海)有限公司 (中国・上海)
 広瀬電機(蘇州)有限公司 (中国・蘇州)
 広瀬感應科技(香港)有限公司 (香港)
 広瀬科技(深圳)有限公司 (中国・深圳)
 威海広瀬電機有限公司 (中国・威海)
 威海広瀬貿易有限公司 (中国・威海)

会社の概況

会社概要 (平成24年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 737名 (パートタイマーを除く。)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	中村達朗
代表取締役副会長	串田榮
代表取締役社長	石井和徳
常務取締役	吉村義和
取締役	二階堂和久
取締役	飯塚和幸
取締役	近藤真
取締役	中村充男
社外取締役	堀田健介
常勤監査役	松原俊雄
社外監査役	杉島光一
社外監査役	瀬下明
社外監査役	柚木司

(注)

1. 取締役 堀田健介氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下明氏、同 柚木司氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

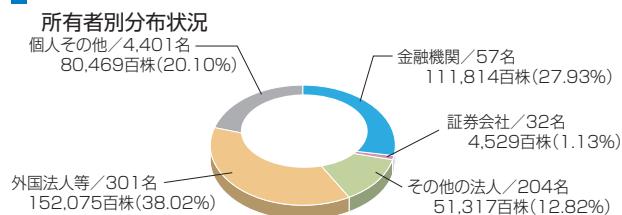
発行済株式総数 34,603,948株
 (自己株式5,416,788株を除く。)
 株主数 4,995名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
	百株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	36,418
財団法人ヒロセ国際奨学財団	28,550
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	17,979
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	14,134
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	13,305
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 380055	12,463
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9,659
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,578
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	8,162
みずほ信託銀行株式会社信託口0700028	7,898

(注) 上位大株主10名のほか、当社が自己株式54,167百株を保有しております。

株式分布



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<http://www.hirose.co.jp/investor/index.htm>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【電話照会先】 ☎ 0120-176-417
<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<http://www.hirose.co.jp>

